

1 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標			スマート農業推進枠			事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考			
					現状		目標		実績							導入・定着の取組の実施内容		
					年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位							年度	面積 単位
北杜市農業再生協議会	5	高根	大豆	【H28年度】 トラクター(1台)、ロータリー(1台)、アッパロータリー(1台)、シーダー(1台)のリース導入による人件費減によるコスト低減	H27	59,576円/10a	20.4 ha	H30	53,136円/10a	21.4 ha	R1	32,036円/10a	22.1 ha	現金出納帳、作業日誌、決算書等により検証	42%	事業導入により作業効率の向上と経費削減が可能となり、目標を上回る達成状況となった。	事業導入により作業効率が上がって目標を達成することができた。	
				【H29年度】 トラクター等のリース導入による人件費減によるコスト低減 【機械リース】トラクター1台、ロータリー1台、シーダー1台	H28	134,015円/10a	15.8 ha	H31	120,540円/10a	16.8 ha	R1	104,182円/10a	19.7 ha	現金出納帳、作業日誌、決算書等により検証	221%	事業導入により作業効率の向上と経費削減が可能となり、目標を上回る達成状況となった。		

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標				スマート農業推進枠				地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考							
					現状		目標		実績		年度	導入・定着の取組の実施内容	事業実施前年度	目標年度														
					年度	面積 単位	生産量又は 価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位												生産量又は 価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	
垂井地域農業再生協議会	7	穂坂	果樹 (ブドウ・サクランボ・モモ)	【H28年度】 ブドウ・モモの選果機械、ブドウ・モモ・サクランボの栽培管理機械の導入 【機械リース】精選計数処理装置1台、製品管理装置1台、スピードブレーキ(500型)1台、600型1台、高所作業機4台、ハウス加温機1台、肥料散布機2台、乗用草刈機1台	H27				H30																			
				【H29年度】 ブドウ・モモ・サクランボの栽培管理機械の導入 【機械リース】スピードブレーキ(500型)1台、600型2台、乗用草刈機(1台)、ロールペラー(1台)、ミニアスプレッド(堆肥散布機)(1台)	H28	315,067,000円	102 ha	518,184 kg	608 円	R1	356,059,000円	102 ha	569,800 kg	624 円	R1	299,083,100円	102 ha	327,335 kg	913 円	①ぶどう673円 ②さくらんぼ1,365,223+②さくらんぼ(販売のみ)1,939円 ③もも546円	①ぶどう931円 ②さくらんぼ(販売のみ)939円 ③もも600円	①ぶどう0.72 ②さくらんぼ1.34 ③もも0.91	218,315,737円 (①ぶどう211,584,114+②さくらんぼ(販売)1,365,223+③さくらんぼ(販売のみ)5,366,400+③もも0=218,315,737)	果樹の栽培について、管理機や加温機等の導入により省力化を図り、果実の品質向上に向けた栽培管理を重点的に実施することで販売額増加を見込んだが、6~9月の長雨・多雨の影響により、病害が多発したほか、日照不足から果粒肥大もやや不足したことから、収量が減少したため目標値には届かない結果となった。次年度の目標達成に向け、栽培管理の徹底を指導していく。	令和元年度は気象条件に恵まれず、ぶどうの開花期から果粒肥大までの降雨が多かったことから、病害が多発したほか、日照不足から果粒肥大もやや不足したため、収量が減少した。収量から目標値に届かない結果となったため、次年度の目標達成に向け、栽培管理の徹底を促す。	梨北農業協同組合穂坂共選所における販売額実績	-236.02%	
				【H29年度2回目】 ブドウ・モモ・サクランボの栽培管理機械の導入 【機械リース】 乗用草刈機(2台)、サクランボ選果機(1台)、肥料散布機(1台)	H28					R1																		
南アルプス市地域農業再生協議会	4	南7&2市 (八田、百田、西野、飯野、楢形)	柿(あんぼ柿)	【平成28年度】 あんぼ柿乾燥設備の導入 【機械リース】火力乾燥機11式、【資材】アーチパイプ・直管等骨組み資材9式、被覆資材8式(八田・百田・西野・楢形)	H27				H30																			
				【平成29年度】 高速自動ラベラ(食品表示シール貼付機)の導入 【機械リース】ラベラ5台(3共選所・八田1台、百田2台、楢形2台)	H28	324,895,217円	125 ha	194,898 kg	1,667 円	R1	373,883,000円	125 ha	225,639 kg	1,657 円	R1	244,429,412円	125 ha	134,932 kg	1811.5 円	1574 円/kg	1788 円/kg	0.88	215,097,800	乾燥機等の導入により、あんぼ柿の安定生産と高品質化に取り組むことができたことにより販売単価は上昇したが、令和元年度は凍害と令和元年度台風第19号の影響で収穫量が減少したことにより、原料となる柿自体が不足し、販売量が伸びなかった。目標達成に向け、栽培技術指導により原料の安定生産ができるよう関係機関と連携しながら、販売量の増加につなげていく。	乾燥機の導入により、安定的にあんぼ柿を製造することができるようになり販売単価は上昇したが、令和元年度は凍害と令和元年度台風第19号の影響で収穫量が減少したことにより、原料となる柿自体が不足し、販売量が伸びなかった。目標達成に向け、栽培技術指導により原料の安定生産ができるよう関係機関と連携しながら、販売量の増加につなげていく。	巨摩野農業協同組合管内におけるあんぼ柿の販売額実績	-224%	
				【平成29年度】 あんぼ柿乾燥設備の導入 【機械リース】火力乾燥機23式、【資材】アーチパイプ・直管等骨組み資材18式、被覆資材9式(八田・百田・飯野・西野・楢形)	H28					R1																		
北杜市農業再生協議会	3	武川・長坂	サラダホウレンソウ等野菜類・トマト	施設野菜産地の形成の推進 ①高度な環境制御技術等の導入による周年・計画生産の取組(サラダホウレンソウ等野菜類の施設整備) ②トマトの産地化に向けた取組 H27年度に設置した施設の活用によるトマトの安定生産への取組及び高収益化への取組	H27	(38,488,400円(949,216円/10a)) 42,481,400円(967,157円/10a)		H30	(391,005,109円(9,597,462円/10a)) 431,925,103円(9,833,465円/10a)		R1	(391,005,109円(9,597,462円/10a)) 431,925,103円(9,833,465円/10a)	4.31 ha	731,092,000円(16,585,738円/10a)	4.31 ha	731,092,000円(16,585,738円/10a)	731,092,000円(16,585,738円/10a)	①野菜類(本)524 ②トマト ③トマト	①野菜類(本)538 ②トマト ③トマト	①野菜類(本)0.97 ②トマト ③トマト	727,448,573円(16,508,031円/10a)	①野菜類(本)524 ②トマト ③トマト	①野菜類(本)0.97 ②トマト ③トマト	485,388,000円(11,288,093円/10a) 29,223,274円(662,747円/10a) 31,213,714円(718,840円/10a)	各取組主体が努力を重ね、目標を大きく上回る成果が得られた。今後も定期的に生産計画・状況を聞き取りながら動向を見守っていきたい。	各取組主体が努力を重ね、目標を大きく上回る成果が得られた。今後も定期的に生産計画・状況を聞き取りながら動向を見守っていきたい。	出荷伝票等により販売額実績を検証	176%
				【面積按分】 (①×22%) + (②×70%) + (③×8%) = (90,907) + (75,715) + (800,535) = 967,157円/10a	H28	337,976円/10a 1,142,240円/10a (①×22%) + (②×70%) + (③×8%) = (90,907) + (75,715) + (800,535) = 967,157円/10a	3 ha	①野菜類(0.984ha) 187,005,109円/10a ②トマト(3,0784ha) 204,000,000円/30,784=6,626,819円 ③トマト(0.33ha) 12,400,000円/10a 【面積按分】 (①×22%) + (②×70%) + (③×8%) = 9,833,465円/10a	4.31 ha	①野菜類(0.984ha) 216,480,172円/9.84=22,000,017円/10a ②トマト(3,0784ha) 485,388,554円/30.784=15,767,559円/10a ③トマト(0.33ha) 29,223,274円/3.3=8,855,538円/10a 【面積按分】 (①×22%) + (②×70%) + (③×8%) = 16,585,738円/10a	4.31 ha	①野菜類(本)524 ②トマト ③トマト	①野菜類(本)538 ②トマト ③トマト	①野菜類(本)0.97 ②トマト ③トマト	485,388,000円(11,288,093円/10a) 29,223,274円(662,747円/10a) 31,213,714円(718,840円/10a)	①野菜類(本)524 ②トマト ③トマト	①野菜類(本)0.97 ②トマト ③トマト	485,388,000円(11,288,093円/10a) 29,223,274円(662,747円/10a) 31,213,714円(718,840円/10a)	【面積按分】 (①×22%) + (②×70%) + (③×8%) = 4,714,056 + 11,037,279 + 756,696 = 16,508,031円	ポイント 成果目標：2.0 整備事業：2.5 合計4.5								

(3) 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	登録番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考							
					現状						目標											実績						
					年度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位	年度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位	年度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位												
北杜市農業再生協議会	8	小淵沢	水稲	【H28年度】 トラクター(1台)のリース導入による作付の転換による契約率の向上 【H29年度】 マニースプレッダ(1台)、フレールモア(1台)、田植機(1台)	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	H27	72% (358a/499a)	4.9 ha				H30	85% (539a/634a)	6.3 ha				R1	85.7% (556a/649a)	6.49 ha				生産量集計、販売証明書、水田台帳等により検証	105%	機械導入により需要に応じた生産が実現でき、契約栽培の割合・栽培面積ともに伸びることが出来ている。	機械導入による省力化により作付面積が拡大するとともに、需要に合わせた生産を行い、契約栽培面積も拡大したため、契約栽培の割合が増加し、目標達成率105%と目標を達成することができた。	<ポイント> 合計：22 成果目標：5 重点項目：5 面 積：0 農地の利用：2 取組主体数：3 費用対効果：4 選択項目：3
北杜市農業再生協議会	25	白州	そば	【機械リース】 トラクター(1台60ps)、ロータリー、ハロー、モアのリース導入	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	H28	0% (契約量0t/生産量2.4t)	8.4 ha	2.4 t			R1	50% (契約量1.5t/生産量3.0t)	9.4 ha	3 t	1.5 t				23.40%	11.4 ha	6.4 t	1.5 t	契約栽培の契約書及び販売伝票等により検証	47%	作付面積の拡大と反収の向上により、出荷量が増加し、契約取引数量が目標の数量まで拡大した点は評価できる。しかし、生産量が増えすぎたため、結果として契約販売率が低下してしまった。今後は生産量に応じた契約販売の見直し等、販路確保の体制を確立する必要がある。	作付面積と反収の向上により、目標年の出荷量を大きく上回り、契約取引量も目標年と同量まで増加した。今後は、契約取引量の増加等、安定的な販路確保に向けて、地域協議会を通じて報告してもらい、取組内容を注視していく。	

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

山梨県

市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	成果目標の具体的内容	目標値 (R円)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況
							実績	
北杜市	北杜市農業再生協議会	11	野菜(イチゴ)、サツマイモ 果樹(ブドウ、オウトウ、ブルーベリー、リンゴ)	販売額の10%以上の増加	販売額の12%増加 現状:15,182,155円	16,999,671円	11,996,446円	-175.3%
北杜市	北杜市農業再生協議会	12	果樹(ブドウ)	販売額の10%以上の増加	販売額の12.9%増加 現状:1,065,156円	1,202,500円	1,044,409円	-15.1%
北杜市	北杜市農業再生協議会	25	土地利用型作物(そば)	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	契約栽培の割合50%以上 現状:0	50% (契約量1.5t/ 生産量3.0t)	23.4% (契約量1.5t/ 生産量6.4t)	47.0%
南アルプス市	南アルプス市地域農業再生協議会	4	果樹(柿(あんぼ柿))	販売額の10%以上の増加	販売額の15.1%増加 現状:324,895,217円	373,883,000円	215,097,800円	-224.1%
韮崎市	韮崎地域農業再生協議会	7	果樹(ブドウ、サクランボ、モモ)	販売額の10%以上の増加	販売額の13.0%増加 現状:315,067,000円	356,059,000円	218,315,737円	-236.0%